

プロジェクトマネジメント講座

5.4 スコープマネジメント WBS 作成

WBS の目的とは、作業を計画し、マネジメントし、監視コントロールを行いやすくするようにプロジェクトの作業を定義すること。また WBS とは、プロジェクトに必要な成果物を作るために、成果物を細分化する手法。

5.4.1 WBS 作成【インプット】

- スコープマネジメント計画書
- プロジェクト・スコープ記述書

5.4.2 WBS 作成【ツールと技法】

- 要素分解 … プロジェクト成果物をより細かく、構成要素に細分化して、ワークパッケージを定義する
 - ・ 通常マネジメントチームは、成果物やサブプロジェクトが明確にされ、WBS の詳細が作成できるようになるまで待つ。→ローリングウェーブ計画法
 - ・ 作業が下位の詳細レベルまで要素分解されるに従って、作業を計画し、マネジメントし、コントロールする能力が高まる。

＜WBS 要素分解の順番＞

手順1 成果物と関連業務をすべて特定

手順2 WBS の構造化と組織化（プロジェクトの作業を整理して、WBS の形を決める）

手順3 構成要素レベルへの要素分解

手順4 識別コードの作成と割当て

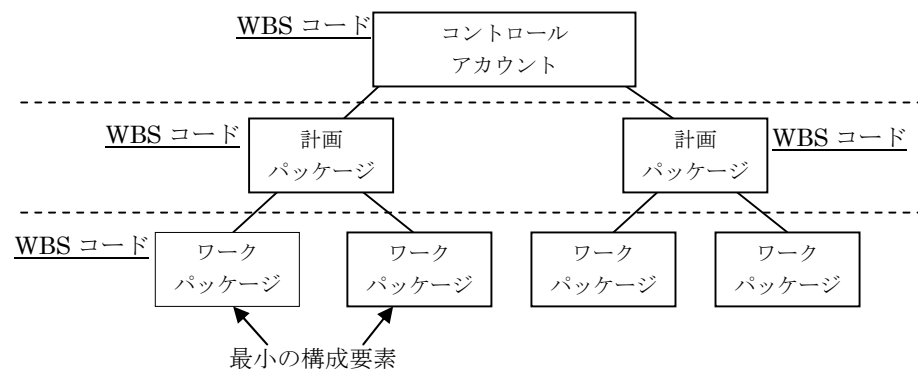
手順5 構成要素が明確であるかを検証

- ・ 上位レベルの WBS の構成要素の要素分解は、検証可能なプロダクト・サービス・所産を表す
- ・ 各構成要素は、明確に定義し、責任を負う一定の実行する組織部門を割り当てる
- ・ 行き過ぎた要素分解をせず、余計な作業を入れない、しかも取りこぼしがないようにする（100%ルール）
- ・ WBS は各プロジェクトやフェーズ（工程）に合うよう、テーラリングする

5.4.3 WBS 作成【アウトプット】

◆ スコープベースライン（以下1～3の3つが完成するとスコープベースラインになる）

1 ワークブレイクダウンストラクチャー（Work Breakdown Structure【作業分解図】）



- 2 WBS 辞書 … WBS の各構成要素について詳細を提示した文書
- 3 プロジェクト・スコープ記述書…スコープ定義プロセスの OUTPUT

【その他の重要用語】

- ・ コントロールアカウント（スコープ・タイム・コストの管理ポイント） …
いくつかの構成要素のコスト・スケジュールの管理などの構成要素
- ・ 計画パッケージ（コントロールアカウントと同様に、スコープ・タイム・コストの管理ポイント） …
階層が深い WBS であると、ワークパッケージで遅延や超過が発生した場合、その影響をコントロールアカウントで確認することが難しくなるため、WBS よりも上、且つコントロールアカウントよりも下の構成要素に管理ポイントを設置する。その管理ポイントを計画パッケージと呼ぶ。
- ・ WBS コード … 構成要素に割り当てられる識別コード。資源・コスト・スケジュールの割り当てを行うための勘定科目表とリンクしている

5.5 スコープマネジメント スコープ妥当性確認

完成したプロジェクト・スコープと成果物について公式な承認を受けるプロセス。

- ・ 品質コントロール … 正しい作業結果のチェック を主な関心事としている。
- ・ スコープ妥当性確認 … 作業結果の受け入れ を主な関心事としている。

5.6 スコープマネジメント スコープコントロール

コントロールプロセスとは計画どおりに作業を実施されているのかを定期的にチェックをするプロセスであるため、OUTPUT に“変更要求（change request）”が記述されるプロセスのこと。このコントロールプロセス は、ほぼ全ての知識エリアに存在しており、もちろんスコープマネジメントにも存在している。基本的に INPUT・ツールと技法・OUTPUT の形はほぼ同じ形式。

